

題 目	ティッシュ箱作り			実施者	みやざきアートセンター 宮崎大学 藤元嘉安
区 分	製作	時 間	約 120 分	対 象	小学生～一般
概 要	親子木工教室での製作題材。天板のティッシュ取り出し口を自由にデザインし、糸鋸盤で加工することが主な作業となる。				

【製作品と実施会場】

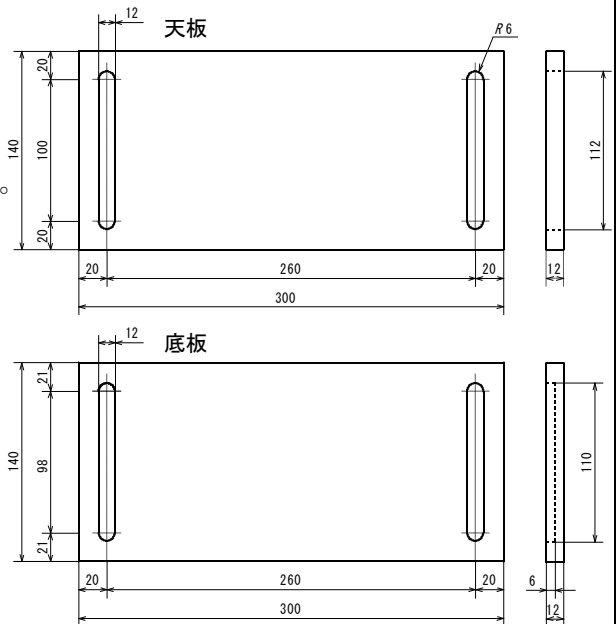
作品（図 1）の大きさは、幅 300mm、高さ 120mm、奥行き 140mm である。天板が可動式であるため、厚さの異なるティッシュ箱に対応できる。実施会場は、みやざきアートセンター内の「製作アトリエ」であり、工作台や木材加工用工具類が常備してある施設である。参加者は、小学生が中心。幼児は保護者が付き添っている。



図 1 ティッシュケース

【事前準備】

厚さ 12mm のスギ板を用い天板及び底板各 1 枚（ともに幅 140mm、長さ 300mm）、側板用板（幅 102mm、長さ 240mm）を準備する。図 2 に示すような位置及び大きさの貫通穴（天板用）及び深さ 6mm の溝（底板用）をあける。加工には $\phi 12$ mm のルータ等を用いる。



【作成手順と注意点】

1. 側板用板の長さ方向に 2 分割するようにはがき線をひき、のこぎりを使って切断する。切断面を研磨紙できれいにする。
2. 側板の木端面をかな、やすりあるいはルータ等を用いて丸くし、研磨紙を用いてきれいにする。
3. 天板に取り出し口の穴の下書きをする。線の内側を糸鋸盤で切り抜く。ヤスリや研磨紙を用いて穴の加工面をきれいに整える。
4. 底板の裏側から、木ねじを打つ場所に印（6箇所）を付ける。ボール盤で直径 3mm の穴を開けた後、きく座ぎりを用い木ねじ頭が埋まる部分をあける。
5. 側板の端部に接着剤を塗布し、底板の溝に差し込む。木ねじをねじ込み固定する。
6. 研磨紙を用い、板の表面をきれいにし、角の面取りを行う。

図 2 天板、底板の穴、溝加工

※参加者の作業自体はそれほど難しくはないが、事前準備での穴・溝加工が大変。適宜、位置決め用の治具等を準備すると量が多くても効率的に加工が行える。

※作品は、生き生き森ネットワーク「木育アクティビティーシート」Sheet No. 253 を参考としている。

準備物等 (経費)	<p>【材料】 スギ板：12×140×300mm 2枚、12×102×240mm 1枚、木ねじ（長さ25mm、6本）、木工用ボンド</p> <p>【工具】 指金、鉛筆、両刃のこぎり、かな、やすり、ルータ、糸鋸盤、ボール盤、きく座きり、ドライバー、研磨紙</p> <p>【主な材料費】 スギ板（上小節）約165円/枚（立米：150,000円で計算） 【加工費抜き】</p>
連絡先	〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学 技術教育講座 藤元嘉安 Tel. 0985-58-7551 E-mail : fujigen@cc.miyazaki-u.ac.jp